

科目名	ライブステージ鑑賞 1							年度	2025
英語科目名	Live Stage Appreciation 1							学期	通年
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	柿崎光	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アーティスト活動、マネジメント		
【科目の目的】 積極的にライブステージを鑑賞し、1つの音楽ジャンルやアーティストのパフォーマンスを現場で体験して知識を得る。同時に、別の音楽ジャンルも体験し、スタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の技術やスキルを実際の現場で学ぶ。アーティストのステージに焦点を当て、周辺を含めたプロの技術を研究する。									
【科目の概要】 アーティストのステージを研究し、周辺を含めたプロの技術を学びます。									
【到達目標】 A. 積極的にライブステージ鑑賞に参加する。 B. 1種類のジャンルの音楽を体験するとともにアーティストのパフォーマンスを現場で体験し知見を得る。 C. 1種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の技術やスキルを現場で体験し知見を得る。									
【授業の注意点】 積極的に参加してアーティストのパフォーマンスやスタッフワークを鑑賞する事。ライブステージ鑑賞を通じてプロの仕事の現場を理解する為に私語や態度などには厳しく対応する。また、理由のない遅刻や欠席は認めない。ライブ終了後は、感想をまとめて各自今後の自分の実習に生かせるようにする。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	積極的にライブステージ鑑賞に参加する		ライブステージ鑑賞に参加する				到達目標Aについてさらなる努力が必要		
到達目標 B	1種類のジャンルの音楽を体験するとともにアーティストのパフォーマンスを現場で体験し知見を得る		1種類のジャンルの音楽を体験し説明することができる				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 C	1種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の技術やスキルを現場で体験し知見を得る		スタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の役割について説明できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要		
【教科書】 特になし									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、鑑賞参加・イベントによってはレポート提出									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

